

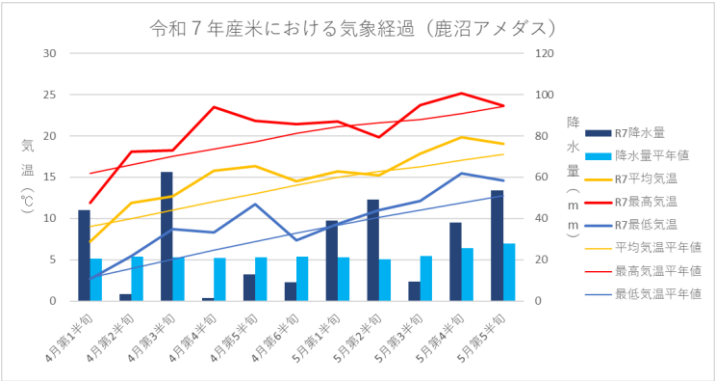
令和7(2025)年産 水稻生育診断速報第1号

令和 7(2025)年6月3日
上都賀農業振興事務所

- コシヒカリの生育は、草丈は平年並からやや長いものの、茎数はほ場によって差が見られています。
- 稲の必要茎数が確保されたら、「間断かん水」を開始しましょう。
- イネミズゾウムシの発生が多い場合、防除を行いましょう。

気象経過

2025 年5月の平均気温は、平年より0.8℃高く、降水量は127%多く推移しました。(5月27日現在)



調査結果の概要(コシヒカリ)

上都賀地域では、過去の平均と比べ、草丈は「平年並～長く」、茎数は「やや少ない～平年並」でほ場によって差が大きく、葉齢は「やや進んで」いました。

(調査データ)

調査地点	項目	草丈 cm	茎数 本/㎡	1株茎数 本/株	葉齢	葉色板	
						葉色板	SPAD
日光市木和田島	今年	30.1	151.0	8.0	6.0	3.6	32.5
	過去5年平均	28.9	169.3	8.8	5.6	3.8	32.7
	平均値との差	1.2	-18.3	-0.8	0.4	-0.2	-0.2
鹿沼市久野	今年	36.2	128.0	8.0	6.8	3.9	35.2
	過去4年平均	27.0	119.7	7.4	5.6	3.8	31.4
	平均値との差	9.2	8.3	0.6	1.2	0.1	3.8

※鹿沼市久野はR2～5の4カ年平均

今後の技術対策

(1) 目標

今年は気温が高く経過しているため、早めに移植したほ場や地力の高いほ場では急激に茎数が増えています。

必要茎数が確保されたら、水管理は「間断かん水」を開始しましょう。

必要茎数:18～20 本/株

※移植60株/坪の場合。生育が中庸な株の平均。

(2) 斑点米カメムシ対策:水田内の除草と畦畔の除草を行いましょう。

(3) その他の病害虫対策

《イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ》

イネミズゾウムシの発生が目立つほ場では、有効な薬剤で防除する。

《いもち病(葉いもち)》

予防散布に加え、発生時には速やかな薬剤散布を行う。

<写真1、2ともに5月26日撮影>



写真1 日光市木和田島



写真2 鹿沼市久野